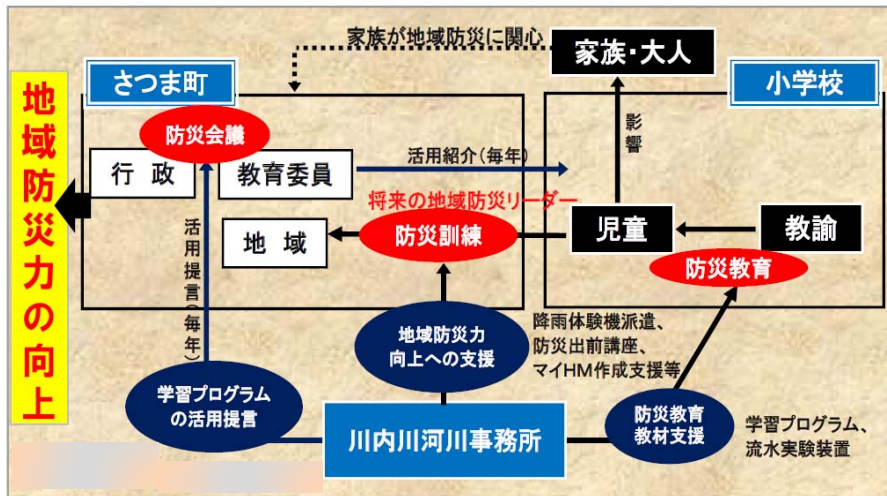


ビジョン取組事例（教育機関と連携した防災教育の拡大）

- 川内川においては、自ら判断して避難することができる人材育成を目的とした水防災河川学習を小学校において推進しており、平成24年度からさつま町において「水防災河川学習プログラム」を開発し、平成26年度から町内の全小学校で教育課程に基づく授業を実施。
- 平成28年度からは薩摩川内市においても取組を拡大しており、本プログラムに基づき、平成28年9月から川内川沿川の小学校（8校）において試行授業を実施



○10年前の川内川の水害から何を学び、どのような水害に備え、「防災・減災」を実現していくのか、次世代の子供たちのために何を伝えていくのかについて、シンポジウムを開催し、約300人を越える方が参加。（さつま町：鶴田中央公民館 H28.10.2開催）



【丸亀市川西地区自主防災会 岩崎会長】

自主防災活動として先進的な取組をされている丸亀市川の岩崎自主防災会長より、自主防災活動を継続するためには、どうすれば良いのか、そのノウハウについて、地域住民が学習



【さつま町 日高政勝町長】

「『釜石の奇跡』のように、自ら判断し避難できる人材育成を目的に小学校での水防砂教育に取り組んでいる」